



『未来』！皆さんはどんなイメージを持っていますか？

—未来を創るのは皆さんです！—

校長 千代田 栄

皆さんは、20年後・30年後の未来はどんな社会になっていると思いますか？よく言われることは、これからの社会は、『不透明な社会』『加速度的に変化する社会』『予測不可能な社会』などと言われています。ちょっと難しい話になりますが、世界中の様々な人が、これからの社会のことについていろいろな話をしていきます。その一例を挙げてみます。**オックスフォード大学 マイケル・A・オズボーンズ准教授**が「雇用の未来—コンピュータ化によって仕事は失われるのか」(2015年10月)という著書の中で、「今後10~20年で米国で47%の仕事が自動化される可能性がある」と語り、コンピュータに代わられる確率の高い職業として、次のような職業をあげています。「銀行の融資担当者、スポーツの審判、不動産ブローカー、レストランの案内係、レジ係」など、また、生き残る仕事として「ソーシャルワーカー、小学校の教師、心理カウンセラー、医者、看護師」などをあげています。また、**元GoogleのCEOラリー・ページ氏の言葉**として「人工知能の急激な発達により、現在日常で行われている仕事のほとんどをロボットが行うというもので、近い将来、10人中9人は今とは違う仕事をしているだろう」**マイクロソフト創始者のビル・ゲイツ氏の言葉**として、「ソフトウェアが運転手、ウェイター、看護師の代行を行うため、仕事の需要がどんどん減っていくだろう。特に、大したスキルを必要としない仕事は次の20年でどんどん少なくなっていくだろう。だけど、まだ誰も心の準備ができていないように感じます。」と述べています。また、日本でも、「超スマート社会(Society5.0:ソサイティー5.0)の到来として、AI(人工知能)が急速に発達する社会がすぐにやってくる」と言われています。

こんなことを聞かされると、自分たちの未来は暗く、絶望的な気持ちになってしまいがちになります。確かに、AIに奪われてしまうような仕事は、人間が行うことが少なくなるかもしれません。しかし、AIは万能でもなく、人間を乗り越えるような代物でもありません。人間には『人間の強み』があります。AIにはできないようなことが人間には出来ます。そういった『**人間としての強み**』としての力を、これからの社会を創っていく皆さんは、しっかりと身に付けていく必要があります。『人間としての強み』として挙げられている力として、「現実の世界に意味を見いだすこと(行っていることに価値を見いだす)、倫理観(やってはいけないことはやらない)、相違がある意見を合意させる(お互いの意見を聞き、お互いが納得できる意見にまとめる:合意形成)、板挟みや想定外のことに向き合うことが出来る(ピンチをチャンスに変える力)、責任をもって行う力」等です。これらの『人間としての強み』は、今も日頃の学校教育の中で養われる力です。したがって、今、行っている『学習』や今後期待される『学び』を『能動的に学ぶ』(他者との対話や協働を通して、自ら学び考え、判断し、行動する)ことにより、**未来の社会を生き抜いていく力を身に付けることが出来ます**。その学び方の一つのが『**主体的・対話的で深い学び**』(アクティブ・ラーニング)による学びです。**本校の先生方も意識して授業で行っていますが、『主体的・対話的で深い学び』とは、学ぶことに興味や関心を持ち、自分の将来の夢と関連付けながら、粘り強く取り組むとともに、友達や先生方・地域の方々との協働や対話を通して自分の考えを広げ深め、各教科の「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造する学びです。また、今、最も必要な力として、「学習意欲」や「学習に向かう姿勢」です。「今、学んでいることが、どのように将来役に立つか」を知り、考え、学ぶことの意義や大切さを理解しながら意欲的に学ぶことが大切です。**

一方、皆さんの未来には、大きな可能性や期待があります。今までの社会では成し遂げられなかったことが、自分の工夫や考え、学び、努力次第で大きな成功をなし遂げることが出来ます。現在も若き経営者がたくさん出てきていますが、起業(会社を起こす)したり、新しい物を開発したり、創り出すことにより、成功することが出来ます。自分の学びや力で未来を創ることが出来ます。皆さんが未来の社会をどんな社会にしたいかを考えることから未来づくりが始まります。周りに流されて社会を生きるのではなく、明確な社会の未来像を自分で描きながら、自分たちの未来を創ることに期待してみませんか。自分たちの未来を自分たちで創っていきましょう！

部活動に係る活動方針について

富士見市立東中学校では、部活動に係る基本方針に基づいて部活動を実施するため、部活動に係る活動方針を定めて活動しています。これは部活動を生徒、保護者の負担過多にならないよう十分配慮して行うための指針です。（抜粋）

活動の基本方針

- スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力を育成する。
- 部活動への自主的、自発的な参加を通して、生徒一人ひとりの「生きる力」を育むとともに、生徒が自らを鍛えるため、努力を継続させることで、自己肯定感や自立する心を育成する。
- ※「生きる力」とは、「考える力」「豊かな心」「健やかな体」
- 学校、部、生徒、家庭の実情等を十分に把握し、部活動において生徒の力を十分に発揮させるよう努める。

適正な休養日等の設定について

- 学期中は、原則週2回以上の休養日（平日1日以上かつ土日いずれか1日以上）を設ける。土日両方活動した場合は、翌週いずれかの日に休養日を振替える。
- 定期試験1週間前及び定期試験中の部活動は原則中止とする。
- 1日の活動時間は原則平日は2時間程度、休業日は3時間程度とする。
- 月に3日は土日を休みにする。
- 長期休業中は、学期中の休養日の設定に準ずる。サマーリフレッシュの期間は、原則部活動を中止する。
- 各部において、参加する大会やコンクール等を精査し、負担過多とならないよう注意する。

7月の主な予定

7月	1日（月）	期末試験①	17日（水）	南畑クリーン作戦
	2日（火）	期末試験②	18日（木）	集会 学活 大掃除
	3日（水）	総合集金	19日（金）	終業式
	8日（月）	生徒会専門委員会		ふれあいデー
	9日（火）	2年生職場体験学習①		第1回学校保健委員会
		3年生進路保護者会	20日（土）	夏季休業日（～8/23）
	10日（水）	2年生職場体験学習②		夏季補習期間（～7/31）
		安全点検日		家庭訪問または二者面談・三者面談
	11日（木）	2年生職場体験学習③		（～7/31）
	16日（火）	給食最終日		
		安心安全なネット利用講演		

